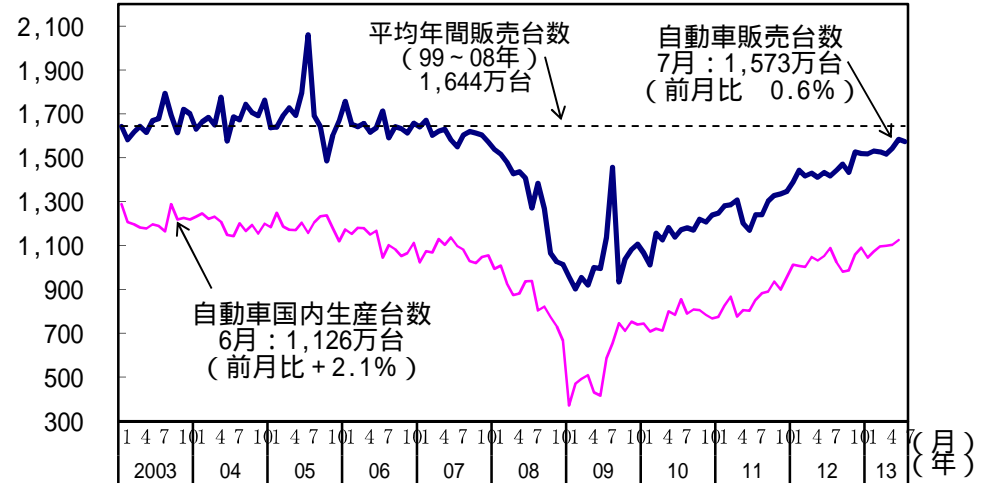


# 1. アメリカ

アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。

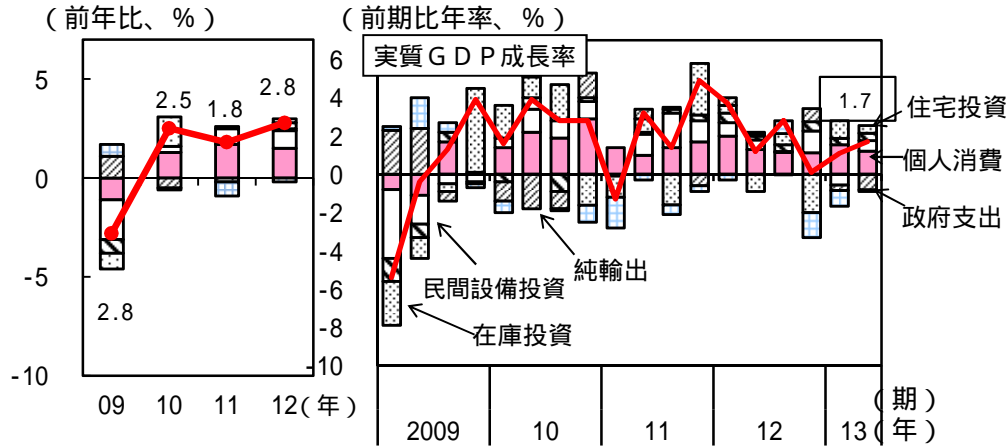
## 自動車販売台数は増加

(年率、万台)



## 実質GDP成長率 (1次推計値)

2013年4~6月期は前期比年率+1.7%成長

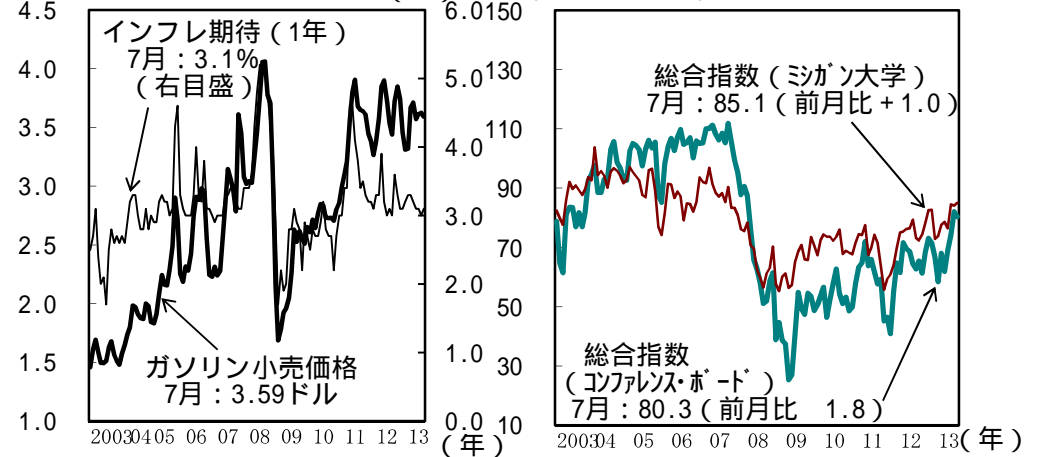


(備考) 2013年4~6月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費: 1.2、民間設備投資: 0.6、住宅投資: 0.4、在庫投資: 0.4、政府支出: 0.1、純輸出: 0.8。

## 消費者信頼感指数は上昇傾向

(ドル/ガロン)

(%) (1985年 = 100)

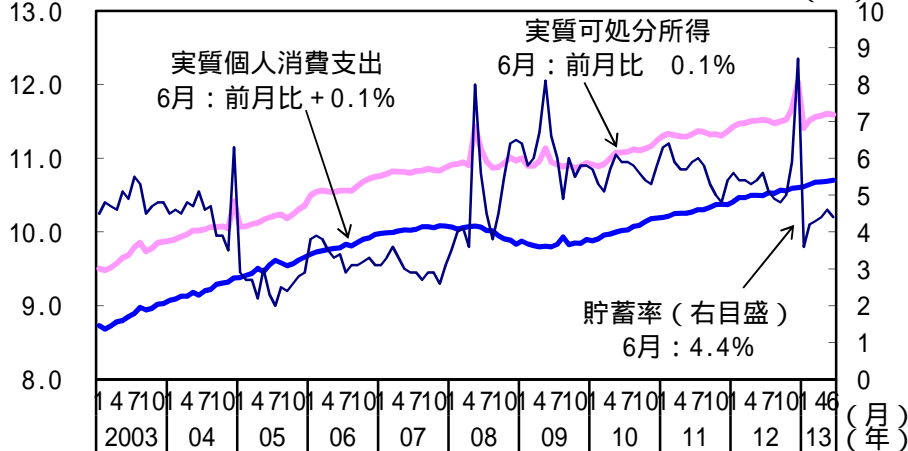


(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。  
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

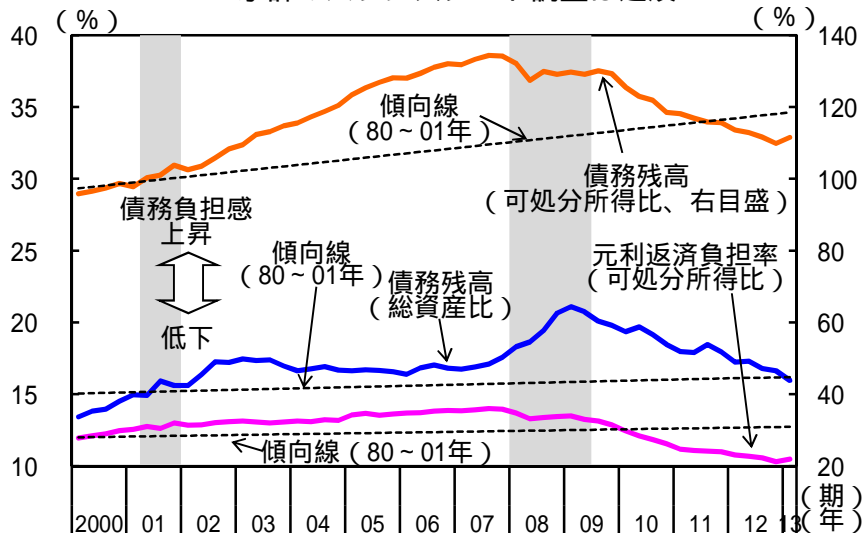
## 消費は緩やかな増加傾向

(兆ドル)

(%)

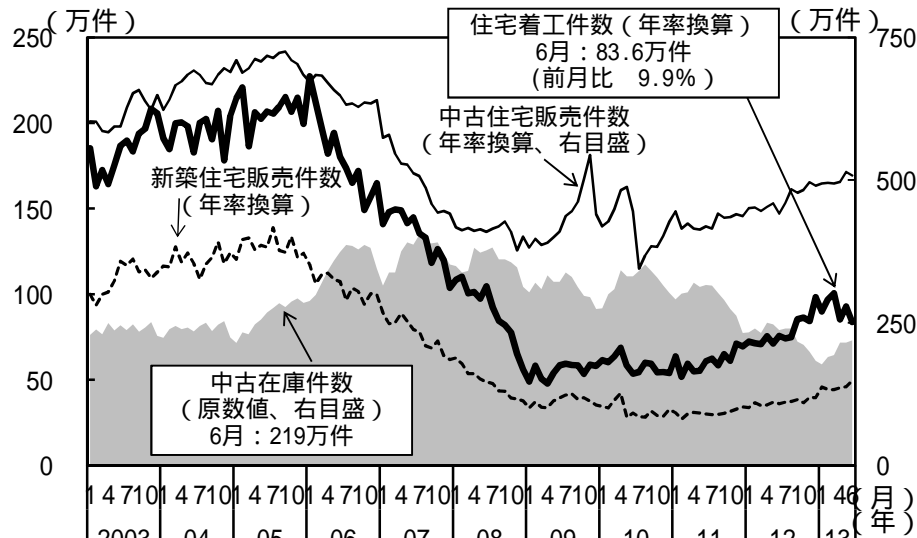


### 家計のバランスシート調整は進展



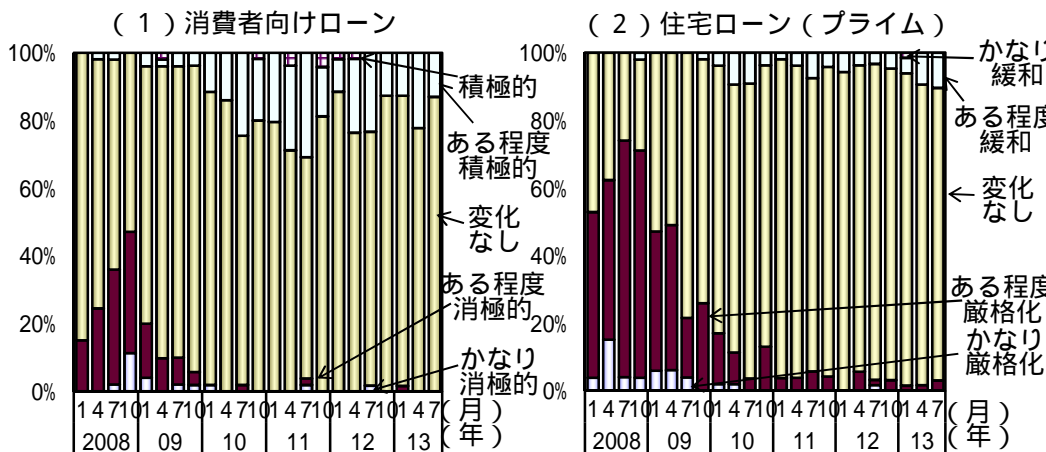
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。  
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

### 住宅着工はこのところ横ばい



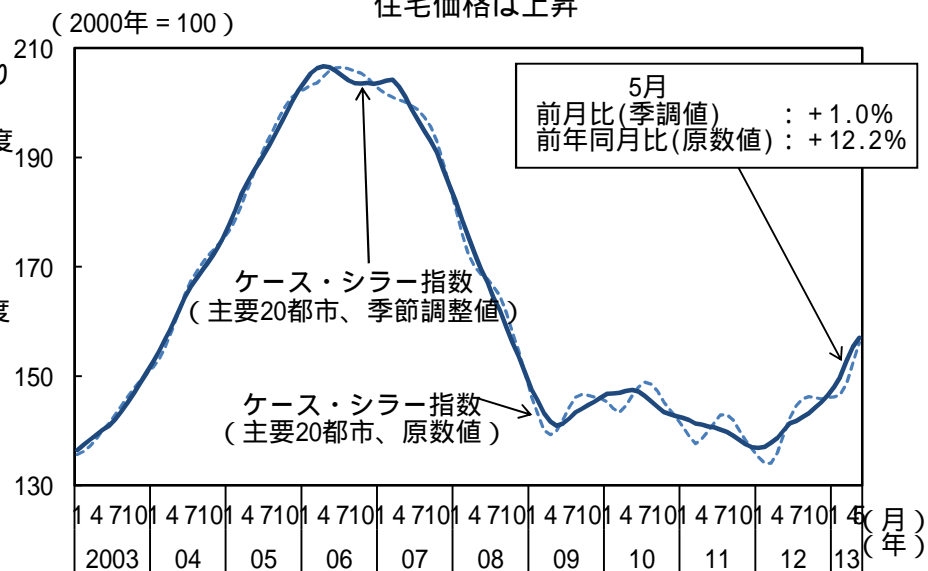
(備考) 13年6月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.2ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(1月末)は5.1ヵ月分に相当。

### 金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

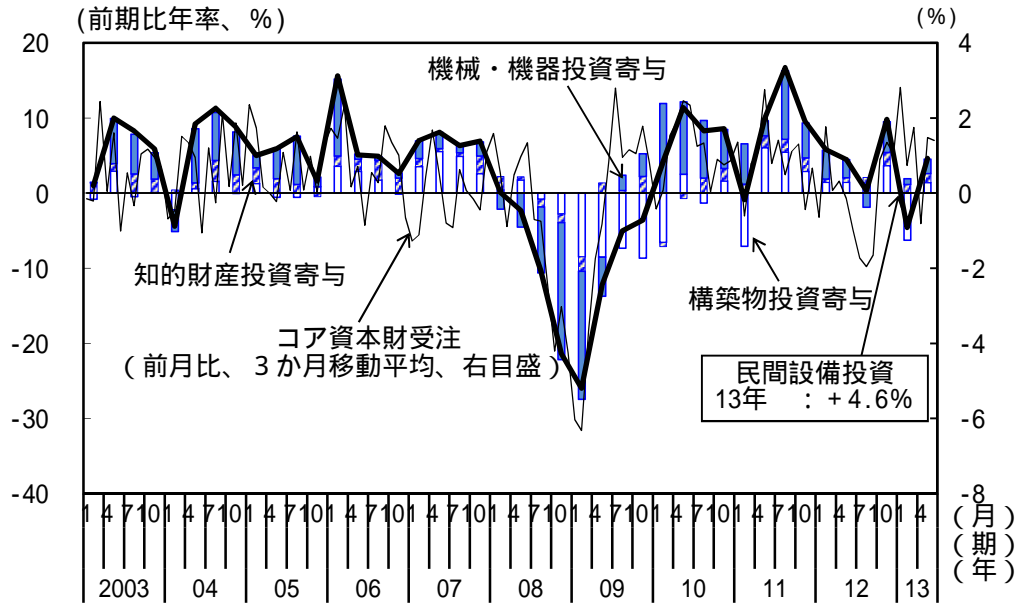


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。  
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

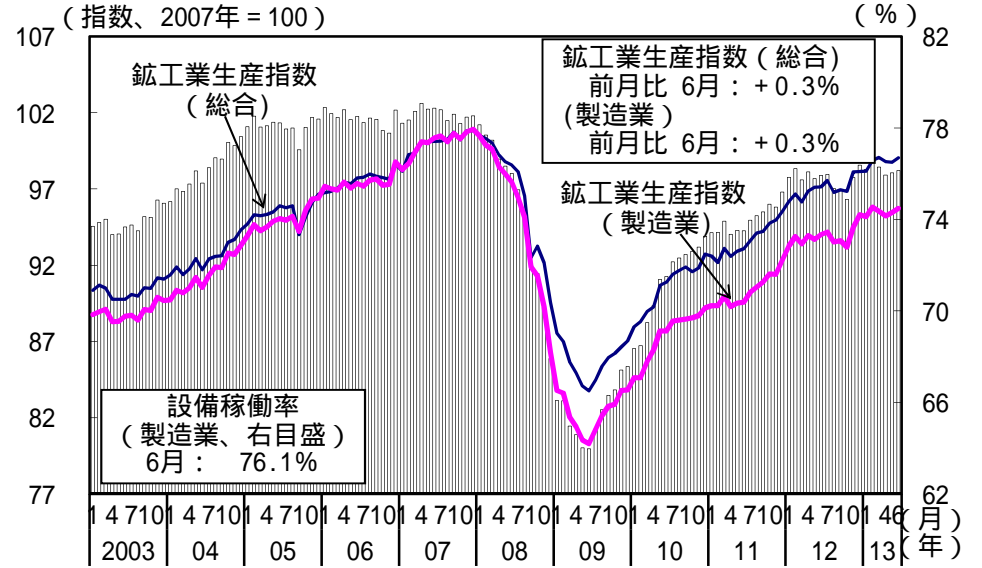
### 住宅価格は上昇



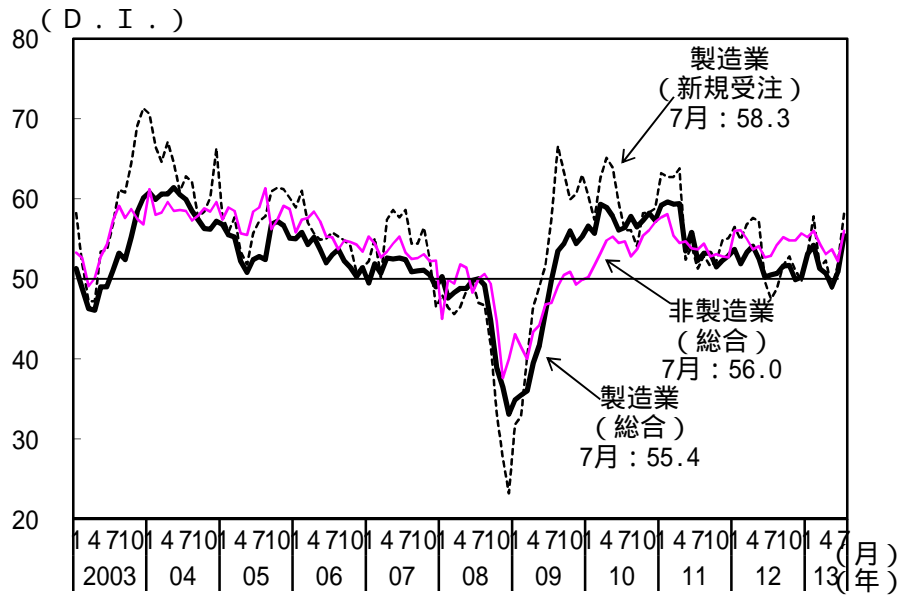
設備投資は緩やかに持ち直し



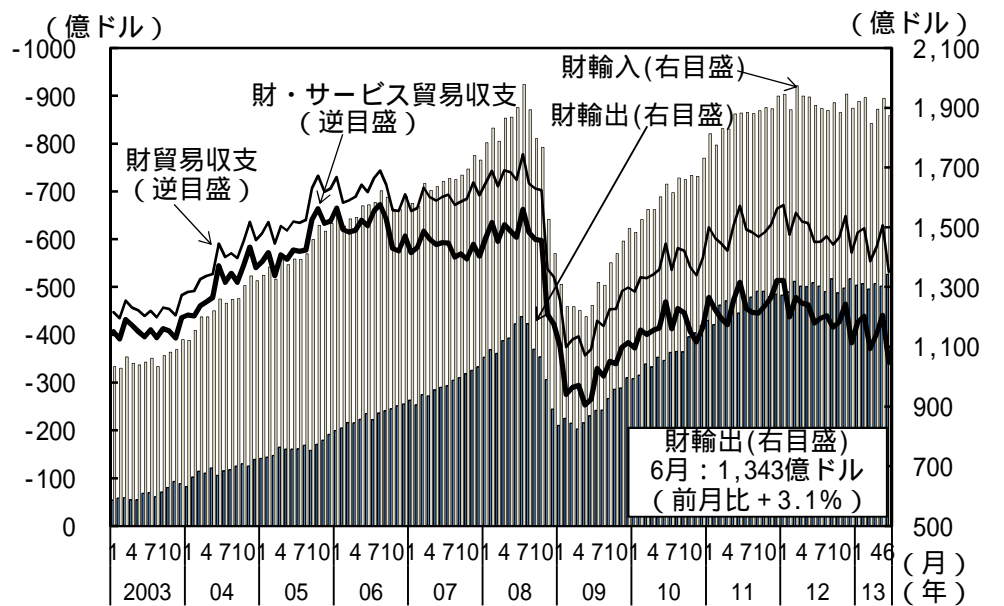
生産はおおむね横ばい



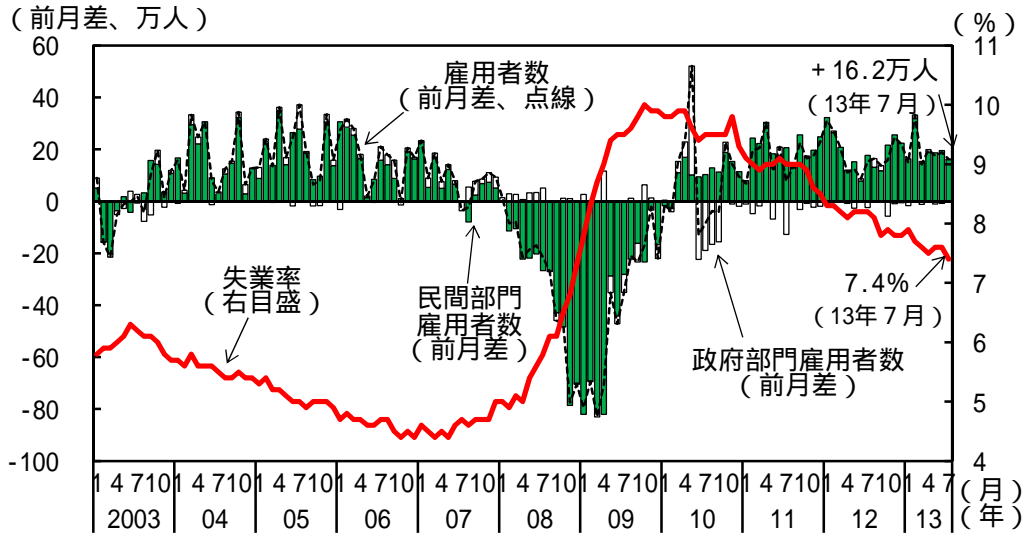
景況指数は持ち直し



財輸出は緩やかに増加

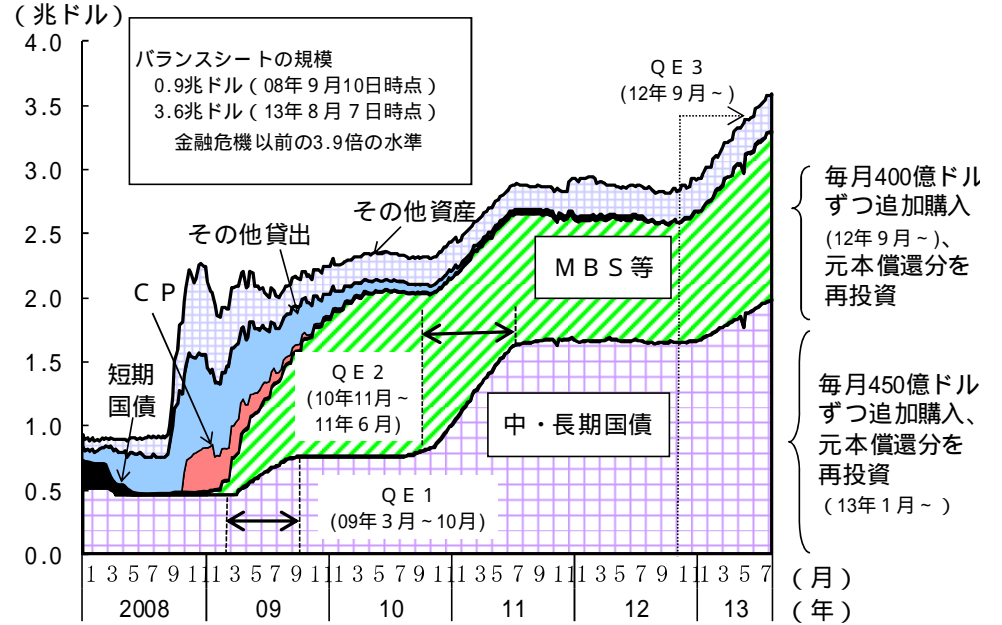


### 雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



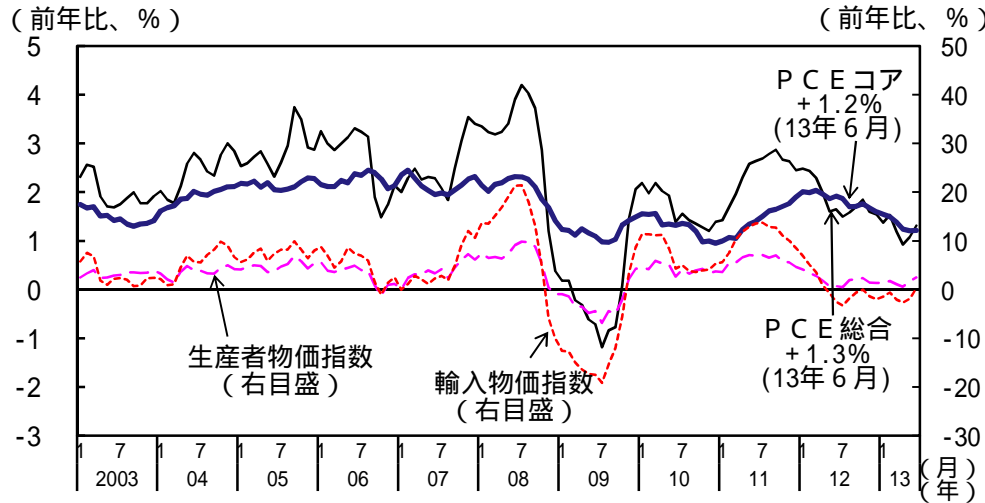
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。  
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.9万人、10年以降の雇用者数の増減は +666.5万人。

### FEDのバランスシート(資産サイド)

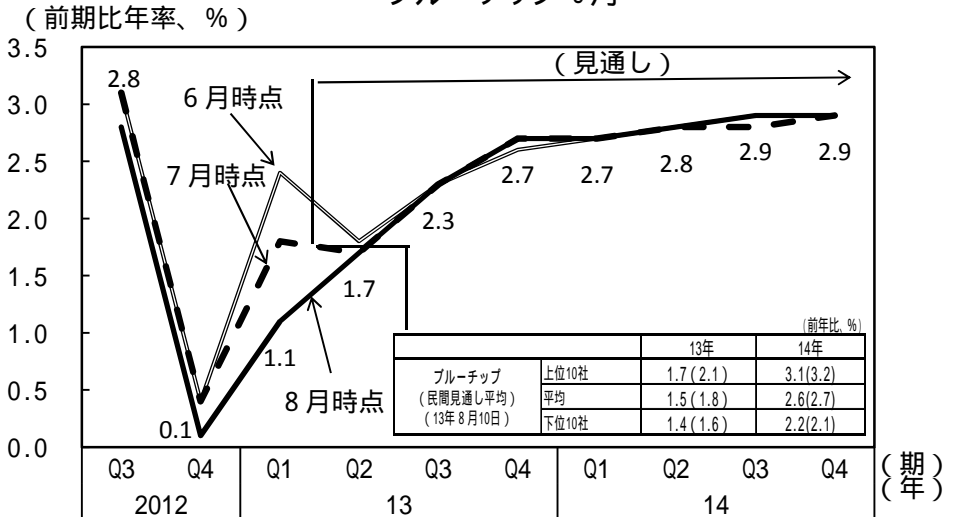


ブルーチップ 8月

### コア物価上昇率は低下傾向



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。



(備考) ブルーチップのカッコ内は、13年7月10日時点の見通し。